

岩手県立花巻清風支援学校 令和7年度 第3回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和8年2月17日(火) 10:00~12:00

2 会 場 本校会議室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員出席 10名

会 長 地域関係者

副会長 北上地区、福祉関係者【欠席】

A委員 地域関係者

B委員 地域関係者

C委員 遠野地区、福祉関係者

D委員 行政関係者【欠席】

E委員 学識経験者

F委員 企業関係者

G委員 NPO関係者

H委員 教育関係者

I委員 教育関係者

J委員 PTA関係者【欠席】

K委員 同窓会関係者【欠席】

L委員 同窓会関係者【欠席】

校 長 本校職員

(2) 本校職員 8名

4 内容

学校運営協議会

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 会長挨拶

(4) 今年度の地域との連携・協働の状況について及び次年度について 進行：副校長

・資料のとおり

質問・意見等

【A委員】

8年度のかかしくらべは、開催できない状況である。老人クラブの多くが活動休止の状況となり、継続は難しい状況と聞いている。小学校の田植え交流も検討している。

(5) 協議 進行：会長

① 学校評価について

・資料のとおり

質問・意見等

【会長】

アンケートの質問項目は誰が決めているのか。

【担当副校長】

学校運営計画により、学校で決めている。比較もあるのでここ数年間項目は変わっていない。

【A委員】

清風支援では、職員の評価が低いという結果になっているが、小学校、中学校の学校評価も同じような結果なのか。

【H委員】

本校でも職員の評価は低く出ている。先生方は、遠慮して1番目ではなく2番目を評価しているのではないか。先生方はとても頑張っているので、その頑張りを称賛していかなければならないと感じた。外部から見ると清風の評価結果は素晴らしい。

【I委員】

本校も職員は、「Aできている」とは言いにくい結果となっている。肯定的評価だと先生方の慎み深い感じが表れている。

【A委員】

2校とも同じ傾向があることがわかった。

【E委員】

アンケート結果のとおり状況だと思う。昭和54年から6年間この学校に勤務した。50年たつが、世の中が変わっても、変わらないものがあると感じる。障がいのある重さに関係なく、学びたいという気持ちは変わらないと、この評価を見て感じた。

【担当副校長】

B評価が多いのは、現状に満足せず、さらに次のステップを目指すために自分自身の学びを高めていくことが大事と考えているのではないか。管理職として職員の良い所を見つけて、ほめていくことが必要であると感じる。さらに職員が感じている充実感を大事にしながら、子どもの学びたい気持ちを支えていきたい。

【F委員】

児童生徒対象の「他の学校や地域の方との交流は楽しいですか」の回答が「わからない」が多いとあった。交流活動は、時々会うだけではうまく交流ができないと聞く。交流は難しいと感じた。

【担当副校長】

学校と地域の交流が単発にならず、つながりをもてるように学校として取り組んでいきたい。

【G委員】

児童生徒アンケートは回答できる児童生徒を対象にしたもので、すべての子どもたちが回答することは難しいと感じる。私たちは、意志表示をしにくい子どもたちが行事や学習を楽しんでいるかどうかや、どう感じているかを推察して支援していくことが大事である。そのことを職員内で共有していければ良いと思う。

【担当副校長】

自分の気持ちをまとめて答えられる児童生徒が少なくなっており、児童生徒回答率は昨年度より下がっているが、「わからない」と回答する人は減っている。年3回行っている学校生活アンケートを活用し、児童生徒の思い、気持ちを多面的に吸い上げて、各学部内で共有するようにしている。

【会長】

寄宿舎の保護者の回答率が低い。せめて半数ぐらいの回答があればよいと思う。

② 令和8年度の学校経営について

- ・資料のとおり
- 質問・意見等

【会長】

特別支援学校には、授業を教えている先生の他に支援員さんが配属されているか。

【校長】

支援員は小中学校に配属し、特別支援学校には配置されていない。介助員が配置されるほか、ボランティアの方が補助的に授業に参加している。

【会長】

了解した。

【C委員】

2の教育目標（1）や3の経営方針（8）が大切であると自分でも考えており、児童生徒、保護者の思いも大切だが、教職員がやりがいを感じながら無理なく仕事をしたい。

【B委員】

アンケート結果について、アンケートの質問は「Yes No」で記載されているが、さらに、心の中身まで入った質問をすると、もう少し深い意味でのアンケートになるだろう。

【担当副校長】

学校経営計画も実感項目が変更されているので、それに合わせて質問項目も必要に応じて変更していくこともあると考える。

【I委員】

経営方針（8）の教職員の専門性を発揮するやりがい、心身の健康を維持しなければ子どもと日々向き合うことができないと思っている。我々管理職は、働きやすい環境をどのようにシンプルにして、より効果的な方法を用いて整備すればよいか、この案から学んだ。

【H委員】

児童生徒の12年間を見据えた上での校長の計画立案のご苦勞を察するところである。中学校では、実際中学部1・2年生の生徒と交流している。最初はぎこちない態度である生徒も見られるが、冬場になって高等部クリーンサービス課の生徒が中学校に訪れた際の礼儀や協力して働いている姿を見ると、大きく成長していると感じることが多い。このことから学校の経営がこのように表れているのだと感じている。

【校長】

感謝申し上げます。この経営計画案の中身に大きな変更点はない。本校は、地域の皆様から支えていただきながら、共同的な学びがかなり進んでいると思っている。今回は、経営計画が先生方の実践に伴うように、趣旨をかえず具体化して加筆した。アンケートについては大きく変更するところはないと考えている。今回寄せられた意見は、児童生徒の気持ちを読み取り、そこから授業や学校経営改善するヒントが得られると考える。この意見をもとに様々検討していきたいと思う。

【会長】

今回は、経営方針案の働き方改革の面について触れたところではある。これだけ多人数の組織でのアンケート結果への対応は困難であると考える一方で、大変な勇気であったと推察するが、この案については、我々は承認したいと考える。いかがか。

【全員】

承認。

(6) 諸連絡

- ・次年度の学校運営協議会について【第1回 6月9日(火)】
- ・令和7年度卒業式、令和8年度入学式について

【校長より】

講師の人材確保が難しい状況である。県教育委員会の人材バンクや校長会、地域の方や委員の皆様をお願いしているが、まだ不足な状況が続いている。委員の皆様には、教員免許を所持し本校で働いてみたいという方がいれば、情報提供をお願いしたい。

本日は、たくさんの貴重な意見をいただいた。しっかりと学校経営に生かしていきたい。

(7) 閉会